

別紙1 出店コンセプト

コウノトリの野生復帰活動を通じ、世界的な評価を受ける豊岡市。その取り組みの紹介、生製品の販売を通して「環境と経済が共鳴するまち」「コウノトリ悠然と舞うふるさと」の実現を目指す。

ショップの考え方

かつて国内各地に生息していた「コウノトリ」。豊岡市は、この「コウノトリ」の日本最後の生息地でした。

その豊岡市では狩猟や環境破壊によって絶滅した「コウノトリ」を、かつての生息地の人里に戻す「野生復帰プロジェクト」が現在すすめられています。

このように、経済成長に伴い環境を破壊してきた現代を憂い、湿地生態系の頂点に立つ「コウノトリ」と共に暮らしていくために、生き物にあふれた豊かな自然と、大型の鳥を受入れられるおおらかな文化が、本市の特長でもあります。

豊岡市は、人の手により失われた「コウノトリ」が暮らせる環境を、慈しみ、育て、守ってきたからこそ、いま、世界から注目されています。これからも「コウノトリと共に生きる」まちづくりを実現し、次の目標である「コウノトリ悠然と舞うふるさと」を目指してまい進していきます。豊岡市が目指すのは、コウノトリが悠々と舞う「環境と経済が共鳴するまち」。

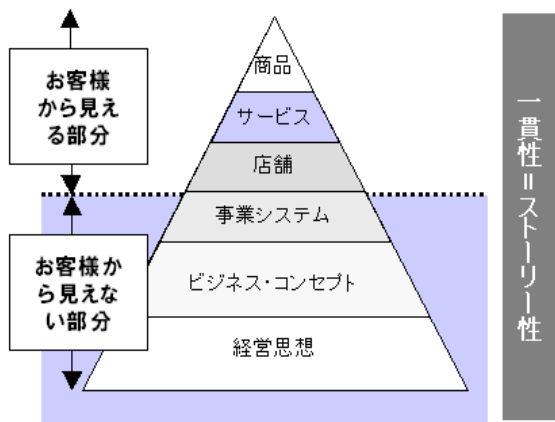
この将来像の実現に向けて、「豊岡市」についてや豊岡市が取り組む「まちづくり」についてもっとたくさんの人に知ってもらい、その上で、豊岡市で生産された「産品」「産物」を購入してもらうことで豊岡市の「まちづくりに参加」してもらおう……。この循環によって、結果的に、豊岡市に経済効果もたらされ、その効果をもって、地球にとっても大切な豊岡市のこの「取り組み」を、将来的に継続していくことができる……。

このように、東京で「豊岡市」が出店するアンテナショップは、単に「豊岡市」の生製品を紹介、販売するアンテナショップではなく、**豊岡市のまちづくり、取り組みに直接的または間接的に参加してもらうための「場」であるべき**と考えています。

コウノトリは、豊岡市に様々な“しあわせ”を運び、そして育ててくれています。まちの人にとっての“しあわせ”、本市で育まれる産業にとっての“しあわせ”、自然環境に生きる生きもの達にとっての“しあわせ”、地球環境にとっての“しあわせ”、これから生まれる子ども達にとっての“しあわせ”……。

コウノトリが運び、育むこの“しあわせ”を、「豊岡市」が、豊岡市で生産される「産品」を通して、都市部の生活者に伝え、運び、届けることは、いろいろな意味で大きな意義を持つと考えます。

具体的な事業システム例



商品： 豊岡市内でとれる生産物（豊かな海の幸、山の幸、但馬牛等）
でつくられる商品で、コウノトリが育む“しあわせ”を伝え、運
び、届けられるような商品の販売

サービス：コウノトリを育むまちのコンシェルジュとして、
豊岡の事を語る従業員が、豊岡を伝え、
コウノトリが育む“しあわせ”を運び、届ける
おもてなし

店舗： 豊岡市の原風景、自然、城崎温泉や但馬牛、
環境に優しいコウノトリ米等、豊岡市自慢の
資源が調和したデザイン、内装。お客様にとって居心地がよく、
しあわせな気持ちになれるような、あたたかい雰囲気店舗デザイン、等。

事業システム：単に「豊岡市」の生産品を紹介、販売するアンテナショッ
プではなく、豊岡市のまちづくり、取り組みに対し、体験やコ
ミュニケーションを通して、直接的または間接的に参加しても
らう都市部の「場」

方向性：「コウノトリ」の野生復帰活動を通じ、世界的な評価を受ける
豊岡市。その取り組みの紹介や生産品の販売を通して「環境
と経済が共鳴するまち」「コウノトリ悠然と舞うふるさと」
の実現を目指す

想い： 素晴らしい豊岡市の資源をもっと知ってもらいたい。
東京の人に買ってもらいたい
豊岡のブランドを向上したい